

平成29年度 学校評価アンケート分析結果

平成30年2月
学校評価委員会

1 アンケートの実施について

(1) 生徒・保護者アンケート

実施期間 平成29年11月6日(月)から17日(金)まで
回収率 生徒 97.1% (対象 1188人)(昨年 96.2%)
保護者 95.4% (対象 1152人)(昨年 96.5%)

(2) 教員アンケート

実施期間 平成29年11月6日(月)から17日(金)まで
回収率 100% (対象 70人)(昨年 100%)

2 質問項目(生徒・保護者・教員 共通13項目)

- ① 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている【学習指導】
- ② 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている【生徒指導】
- ③ 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている【進路指導】
- ④ 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている【教育相談】
- ⑤ 部活動は活発に行われている【部活動】
- ⑥ 生徒会活動は活発に行われている【生徒会活動】
- ⑦ 有意義な学校行事がある【学校行事】
- ⑧ 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる【特色ある学校づくり】
- ⑨ 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている【防災教育】
- ⑩ 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている【開かれた学校づくり】
- ⑪ 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている【施設整備】
- ⑫ 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる【いじめ問題】
- ⑬ 学校生活は充実している【総合満足度】

3 評価段階[4段階評価]

1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

4 概況

「生徒・保護者共通アンケート」の結果について、「肯定的評価」を過年度と比較したもの
「肯定的評価」とは、「そう思う」と「だいたいそう思う」の数値を合計したもの(単位は%)

項目	対象	生徒			保護者			教員	
		H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28
1	学習指導	68	76	72	79	85	82	80	85
2	生徒指導	79	86	84	83	85	82	87	87
3	進路指導	79	84	81	80	83	79	84	83
4	教育相談	73	78	75	80	81	77	94	96
5	部活動	93	90	92	91	91	87	91	90
6	生徒会活動	70	69	71	80	81	81	66	58
7	学校行事	72	79	74	85	88	85	81	90
8	特色ある学校づくり	63	65	60	75	75	80	54	61
9	防災教育	88	83	72	92	84	71	97	93
10	情報の発信	85	85	82	90	76	77	87	69
11	施設設備	75	74	76	83	80	79	67	73
12	いじめ問題	68	68	67	70	67	68	90	90
13	総合満足度	76	80	78	86	88	85	81	90
	平均	75.9	78.2	75.5	82.7	81.7	79.5	81.6	81.9

5 比較

(1) 生徒アンケート調査について

- ① 肯定的評価が昨年度に比べて上昇した項目
「5部活動」+3% 「6生徒会活動」+1% 「9防災教育」+5% 「11施設設備」+1%
- ② 肯定的評価が昨年度に比べて下降した項目
「1学習指導」-8% 「2生徒指導」-7% 「3進路指導」-5% 「4教育相談」-5%
「7学校行事」-7% 「8特色ある学校づくり」-2% 「13総合満足度」-4%

(2)保護者アンケート調査について

①肯定的評価が昨年度に比べて上昇した項目

「9防災教育」+8% 「10情報の発信」+14% 「11施設設備」+3% 「12いじめ問題」+3%

②肯定的評価が昨年度に比べて下降した項目

「1学習指導」-6% 「2生徒指導」-2% 「3進路指導」-3% 「4教育相談」-1%

「6生徒会活動」-1% 「7学校行事」-3% 「13総合満足度」-2%

6 分析・考察

(1)生徒・保護者ともに、多くの項目で肯定的評価が昨年度を下回った。特に、「学力を身につけられるような授業」に対する評価が例年になく低かったことが、他の項目の評価を引き下げる要因になったと推察される。

(2)「部活動」「防災教育」「情報の発信」「いじめ問題」については、生徒・保護者ともに近年で最も高い評価をいただいた。特に、「部活動」「防災教育」については本校の教育活動の柱として機能していることがうかがえる。

(3)なかでも「情報の発信」については、保護者の評価が14%も上昇した。メール配信による情報提供が有効に機能していると考えられる。

(4)「特色ある学校づくり」については、改善の余地を残している。生徒が特色を実感でき、誇りを持って通学できる学校づくりに取り組まなければならない。

7 検討事項

(1)「みやぎ学力状況調査」によると、「授業が分かる」と答えた生徒は1年生で53%、2年生で46%との結果が出ている。「学習指導」のあり方について、授業改善が求められる。

(2)生徒の回答を学年別に分析したところ、2年生の肯定的評価が全項目にわたって低かった。中だるみの時期だからこそ、意味のある働きかけが求められる。

(3)安心安全な学校づくりの中核を担う「防災教育」の定着をはかりたい。

(4)次年度から、保護者アンケートの自由記述欄は削除する。

8 今後の予定

(1)調査結果の提示

(運営委員会 2月5日(月))

(職員会議 2月19日(月))

(2)関係部署による改善策の検討

(3)学校関係者評価委員会への報告

(4)県報告・HP掲載